



上尾市立上平小学校 令和8年1月8日発行

あけましておめでとうございます

ふゆやす お 冬休みが終わり、いよいよ3学期が始まりました。昔から「一月往むる二月逃げる三月去る」といわれてきたように、年度末に向けて月日が流れのを早く感じる時期です。風邪やインフルエンザも流行していますので、体調管理にはより一層気をつけて、1日1日を大切に過ごしてほしいとおも思います。

今年はうま年!



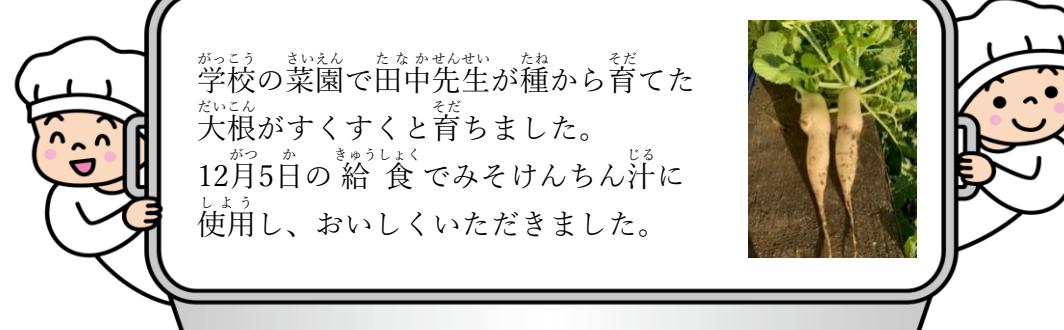
うまのように野菜をたっぷり食べよう!



箸をうまく使いこなしてきれいに食べよう!



よく味わってうまい



学校の菜園で田中先生が種から育てた大根がすくすくと育ちました。

12月5日の給食でみそけんちん汁に使用し、おいしくいただきました。



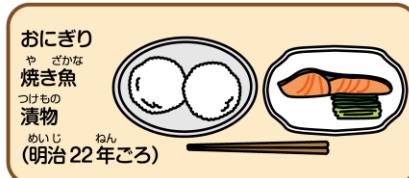
1/24～1/30は
「全国学校給食週間」です

にほん がつ こう きゅう しょく

日本の学校給食のあゆみ

学校給食の始まり

めいじ 明治 22 (1889) 年、山形県の私立忠愛小学校で、貧しい子どもたちへ食事を提供したのが始まりとされています。この学校は大督寺というお寺の中にあり、お坊さんたちが家々を回ってお経を唱え、いただいたお金や食べ物を使つて食事を用意していました。大正 12 (1923) 年には、子どもたちの栄養状態を改善するための方法として、学校給食が国から奨励されるなど、各地へ広がりましたが、戦争による食料不足で中止せざるを得なくなってしまいました。



おにぎり
やさかな
焼き魚
つけもの
漬物
めいじ
(明治 22年ごろ)

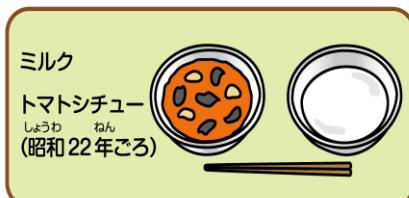


ごし
五色ごはん
えいよう しる
栄養みそ汁
たいしょう
ねん
(大正 12年ごろ)



支援物資による学校給食の再開

せんご 戦後、子どもたちの栄養状態の悪化を心配する声が高まり、昭和 21 (1946) 年 12 月 24 日に LARA (アジア救援公にんじんたい きゅうしょくよぶがっしき きそう う よく かつ がっこうきゅうしょくかんしゃ ひ 認団体) から給食用物資の寄贈を受けて、翌 1 月に学校給食が再開されました。当初は 12 月 24 日を「学校給食感謝の日」としていましたが、その後、冬休みと重ならない 1 月 24 日からの 1 週間を「全国学校給食週間」とすることになりました。



ミルク
トマトシチュー
しょわ
ねん
(昭和 22年ごろ)



コッペパン・ミルク
たたた あ
クジラの竜田揚げ
せん切りキャベツ
しょわ
ねん
(昭和 25～30年ごろ)



バラエティー豊かな献立内容に

しょうわ 昭和 29 (1954) 年に「学校給食法」が成立したこと、で、学校給食は教育活動として位置付けられるようになりました。主食はパンが中心でしたが、昭和 51 年に米飯(ご飯)が正式に導入されると、カレーライスや炊き込みご飯などが登場し、献立内容が充実していきました。



ミートスパゲッティ
ぎゅうにゅう
牛乳

フレンチサラダ
しょわ
ねん
(昭和 40～50年ごろ)



カレーライス
ぎゅうにゅう おし
牛乳・塩もみ
たまご
ゆで卵
しょわ
ねん
(昭和 51年ごろ)

